

式 辞

ふくいく

馥郁と菊香る今日の佳き日に、「越前市制施行五周年記念式典」を挙行しましたところ、多くの市民の皆様にご列席を賜り、皆様と共に五周年をお祝いできますことは、私の大きな喜びとするところであり、心からお礼申し上げます。

また、地元選出の国会議員各位をはじめ、ご来賓の皆様には、ご多用の中をご臨席賜り、誠にありがとうございます。

さらには、後ほど、市政功労・文化功労、並びに市民奨励賞の表彰を受けられる皆様には、各分野において多大なご功労とご活躍を賜り、深く敬意と謝意を表する次第でございます。

さて、平成十七年十月一日に、旧武生市と旧今立町の歴史と伝統を受け継ぎ、誕生しました「越前市」は、丹南の中心都市として新たな歴史を刻み、今月一日に市制施行五周年を迎えました。

初代の越前市長に就任して以来、私は、住民相互の融和と旧市町の一体感の醸成を第一に、三位一体の改革に伴う厳しい財政状況を踏まえ、平成十九年三月に策定した市総合計画の将来像である「元気な自立都市 越前」の創造に向け、まちづくりの五本の柱に基づく施策の推進に全力を傾注してまいりました。

まず、第一の柱の「元気な産業づくり」につきましては、本市の

産業基盤、財政基盤の確立のため、市産業活性化プランに沿って着実に施策を推進し、企業立地の促進や地場産業の支援を行ってまいりました。

商業においては、中心市街地の空洞化が進む中、市中心市街地活性化基本計画を策定し、商業者や市民と行政が連携して「壺の市」や「参の市」を開催するなど、賑わいの創出に向けた取組みを始めました。

観光においては、たけふ菊人形や市サマーフェスティバルの開催をはじめ、観光客誘致事業等を推進した結果、年間観光客入込み数が目標の百万人に達しました。

農業においては、農業・農村の活性化と振興を図るため、概ね十年後の農のあるべき姿を示す「市食と農の創造ビジョン」を策定するとともに、その実行性を高めるため「市食と農の創造条例」を制定し、その推進に取り組んでいるところであります。

次に、二つ目の柱の「元気な人づくり」につきましては、市地域福祉計画や市障害者計画、市次世代育成支援対策推進行動計画の後期計画の策定、公共施設のバリアフリー化などの取組みを推進し、全ての市民が生涯を通じて心身ともに健康で生き生きと暮らせる地域社会の実現に努めてまいりました。

教育においては、市学校施設耐震化推進計画を策定し、耐震化事

業を着実に進め、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、元気な人づくりを推進するための施策を明らかにする市教育振興ビジョンを策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

次に、三つ目の柱の「快適で住みよいまちづくり」につきましては、主要地方道武生美山線の新清水谷トンネルや武生米ノ線の笠倉トンネル、一般県道帆山王子保停車場線の松ヶ鼻トンネルが完成し、戸谷片屋線も日野川の府中大橋を含む区間が一部供用開始されるなど、着実に事業の推進を図ってまいりました。

公共交通においては、福井鉄道福武線の再建スキームに基づく支援策の実施や、市民バス「のろっさ」の利便性向上などに取り組んでおります。

水道事業においては、公共下水道東部処理区の一部供用開始や市水道ビジョンの策定など、ライフラインの機能向上と経営の安定に向けた取組みを進めてまいりました。

環境の保全においては、電気自動車や太陽光発電の導入促進、ごみの減量化などに取り組むとともに、里地里山の保全再生に力を注いでおります。

特に、住民との協働により、コウノトリが舞う里づくりを進めている中、コウノトリ「えっちゃん」が本年四月に飛来し、百七日間もの長期滞在を続けた実績を踏まえ、さらなる里地里山の保全再生

や環境調和型農業の推進を図ってまいります。

次に、四つ目の柱の「安全で安心なまちづくり」につきましては、自主防災組織の設立や総合防災訓練等の実施、市全域における防災情報伝達体制の整備等により、災害に強いまちづくりを推進してまいりました。

防犯対策においては、警察や関係団体との連携強化を図り、犯罪に強いまちづくりを推進するとともに、交通安全対策においては、平成二十年十一月に「交通死亡事故ゼロ五百日」を達成するなど、交通死亡事故の大幅な減少を図ってまいりました。

次に、五つ目の柱の「市民が主役のまちづくり」につきましては、平成二十一年五月に市区長会連合会と市自治振興会連合会が統合して市自治連合会が発足し、地域課題に市民と行政が協働して取り組む体制が確立しました。

また、市協働ガイドラインに沿って、市自治連合会やNPOなどの市民活動団体と協働し、地方分権時代に相応しい市民自治の推進に取り組んでおります。

最後に、「地方分権に対応した行財政運営」につきましては、地方自治体を取り巻く厳しい財政状況の中、市行財政構造改革プログラムの推進により、平成十七年度末から四年間で約四十二億円もの削減効果を生み出すことができました。

今後も、行財政改革の一層の推進を図りながら、事業の選択と集中を行い、引き続き財政の健全化に努めてまいります。

本市を取り巻く環境は、一昨年秋以降の世界的な景気後退に伴い、さらに厳しさを増していますが、市民との協働による「元気な自立都市 越前」の創造に向け、市民が安全と安心を実感できる暮らしの実現を目指して、今後も「現地現場主義」をモットーに、市民の目線に立った市政運営を市職員と一丸となって進めてまいります。

何とぞ、越前市政に対しまして、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日出席を賜りました皆様をはじめ、市民の皆様の益々のご健勝とご多幸、並びに越前市の希望に満ちた一層の発展を祈念申し上げます、式辞といたします。

平成二十二年十月十日

越前市長 奈良 俊 幸